

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 1 部門第 2 区分
【発行日】 令和 5 年 12 月 13 日 (2023.12.13)

【公開番号】 特開 2022-109582 (P2022-109582A)
【公開日】 令和 4 年 7 月 28 日 (2022.7.28)
【年通号数】 公開公報 (特許) 2022-137
【出願番号】 特願 2021-4976 (P2021-4976)
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 1 0 C

10

【手続補正書】
【提出日】 令和 5 年 12 月 5 日 (2023.12.5)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】 特許請求の範囲
【補正対象項目名】 全文
【補正方法】 変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

本体枠と、該本体枠に開閉可能に取付けられる扉枠と、を有する枠構成部と、
該枠構成部に着脱可能に設けられる遊技構成部と、
音または光を用いた報知を制御する報知制御手段と、
遊技者が操作不能な位置に設けられる特別操作手段と、
を備える遊技機であって、
前記特別操作手段の操作に応じて所定の特別状態を発生させることが可能な特別状態発生
手段をさらに備え、
前記遊技構成部は、それぞれ個別に前記枠構成部に取付けられる第 1 遊技構成部と第 2 遊
技構成部とを有しており、
前記第 1 遊技構成部と前記第 2 遊技構成部は、前記枠構成部に取付けられた状態で電氣的
に接続可能であり、
前記報知制御手段は、
前記第 1 遊技構成部と前記第 2 遊技構成部とが電氣的に接続されていない場合に特定の報
知を行うように制御することが可能であるものの、前記特別状態中に前記第 1 遊技構成部
と前記第 2 遊技構成部とが電氣的に接続されていない場合には、前記特別状態が発生した
ことを報知する特別の報知の終了後に音と光との両方による前記特定の報知を行い、
前記第 1 遊技構成部と前記第 2 遊技構成部との組み合わせが整合と判別された後には、前
記第 1 遊技構成部と前記第 2 遊技構成部との組み合わせを比較しない特殊状態を発生可能
である、

20

30

40

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0007
【補正方法】 変更
【補正の内容】
【0007】

50

上記した目的を達成するために、本発明においては、
本体枠と、該本体枠に開閉可能に取付けられる扉枠と、を有する枠構成部と、
該枠構成部に着脱可能に設けられる遊技構成部と、
音または光を用いた報知を制御する報知制御手段と、
遊技者が操作不能な位置に設けられる特別操作手段と、
を備える遊技機であって、
前記特別操作手段の操作に応じて所定の特別状態を発生させることが可能な特別状態発生
手段をさらに備え、
前記遊技構成部は、それぞれ個別に前記枠構成部に取付けられる第１遊技構成部と第２遊
技構成部とを有しており、
前記第１遊技構成部と前記第２遊技構成部は、前記枠構成部に取付けられた状態で電氣的
に接続可能であり、
前記報知制御手段は、
前記第１遊技構成部と前記第２遊技構成部とが電氣的に接続されていない場合に特定の報
知を行うように制御することが可能であるものの、前記特別状態中に前記第１遊技構成部
と前記第２遊技構成部とが電氣的に接続されていない場合には、前記特別状態が発生した
ことを報知する特別の報知の終了後に音と光との両方による前記特定の報知を行い、
前記第１遊技構成部と前記第２遊技構成部との組み合わせが整合と判別された後には、前
記第１遊技構成部と前記第２遊技構成部との組み合わせを比較しない特殊状態を発生可能
である、

10

20

ことを特徴とする。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００８】

上記発明によれば、特別状態中の確認作業の邪魔をすることなく第１遊技構成部と第２遊
技構成部とが電氣的に接続されていないことを報知することを判別することができるよう
になるため、不具合なく遊技を実行させることができるようになって遊技興趣の低下を抑
止できるとともに遊技者や遊技店に不利益を与えないようにすることができる。

30

40

50